

## — 幼児教育・保育の無償化について —

### （私立こども園短時間児向け説明会）

「10 月から幼児教育・保育の無償化がスタート」します。今回は『何が無償化になるのか』（無償化の対象範囲）・『どのような手続きが必要になるのか』（給付認定の手続き）等について、御説明します。

#### はじめに 幼児教育・保育無償化とは

令和元年 10 月より、幼稚園、保育所、認定こども園を利用する 3 歳児（クラス）から 5 歳児（クラス）のすべての子どもたちの保育料を無償化します。

〔幼稚園は満 3 歳から、新制度未移行幼稚園は上限 25,700 円/月〕

また、保育が必要な子どもについては、幼稚園・こども園の預かり保育料（上限 11,300 円/月）、認可外保育施設等（上限 37,000 円/月）を無償化します。

※0～2 歳児（クラス）については市町村民税非課税世帯の保育料が無償化されることとなりますが、習志野市の保育所・こども園等は既に無償化しています。

これまで、お支払いいただいている全ての費用が無償となるものではありません

#### 【対象範囲】

Q1：こども園（短時間児）の無償化の範囲は？ 全て無償になるのですか？

A1：3 歳児クラスから 5 歳児クラスの月々の保育料が無償化されます。

これまでは所得階層・多子区分等により、保育料が定められていました。

（0 円～18,600 円/月）この保育料が一律無償化（0 円）されます。

〔プレスクールは原則無償化されません〕

Q2：保育料以外はどうなるのですか？

A2：預かり保育料・給食費・その他これまで実費負担をお願いしているものは、原則、利用者負担となります。

ただし、条件に該当する人は「預かり保育料」・「給食費（食材料費）」が無償化の対象となります。

【預かり保育料】

Q3：預かり保育料の無償化の対象になるには、どのような条件があるのですか？

A3：保育が必要とされる給付認定（新２号認定）を受ける必要があります。

認定を受けるには、昼間を原則として、月 64 時間以上の就労など、保育にあたれない要件（①～⑧）が必要です。

この要件は、これまで、保育所・こども園（長時間児）の支給認定要件と同様です。

事由	
①就労	家庭内外を問わず、日中仕事をしているため、月 64 時間以上、児童の保育にあたれない。
②出産の前後	母親が出産の前後であるため、児童の保育にあたれない。（出産予定月の前々月から出産後 57 日目の月末までが、対象となります）
③疾病又は障がい	疾病、負傷、心身に障がいがあるために児童の保育にあたれない。
④同居親族の介護・看護	同居の親族に長期にわたる病人や、心身に障がいのある人がいて、その介護のために児童の保育にあたれない。
⑤被災家庭	火災や風水害、地震などの災害復旧のために児童の保育にあたれない。
⑥求職中	求職活動のため、児童の保育にあたれない。 （認定後、60 日以内に就労を開始することが条件となります）
⑦就学	就学中や、技能習得のための通学をしているため、児童の保育にあたれない。（通学にて月 64 時間以上を満たしていることが条件になります）
⑧育児休業	母親が下の児童の育児のため、上の児童の保育にあたれない。

Q4：保育が必要な子どもの（新２号）預かり保育料はどの程度、  
無償化されるのですか？無償（無料）ですか？

A4：預かり保育料は月額 11,300 円まで無償化されます。上限額があります。

Q5：預かり保育を今現在利用していますが、月 11,300 円も支払っていません。

上限額の範囲内なので、全て無償（無料）となるということで良いですか？

A5：今回の無償化では 1 日 450 円（国が定めた単価）×月利用日数分の助成が  
上限額（11,300 円/月）まで受けられるものです。

そのため、1 日の預かり保育料が 450 円を超える場合、実費負担が発生します。

例：預かり保育を 10 日利用した場合で、園が定める預かり保育料が 1 日 600 円の場合

①450 円（国が定める単価）×10 日＝4,500 円

②600 円（園が定める単価）×10 日＝6,000 円（実際にお支払した額）

①と②を比較して、小さい額が無償化額となります。（①の 4,500 円が無償化）

#### 【給食費】

Q6：給食費の無償化の対象になるには、どのような条件があるのですが？

A6：年収 360 万円未満世帯と第 3 子以降が対象となります。

○年収 360 万円未満世帯とは？

現在の保育料負担額：0 円～7,100 円

現在の階層：層 1～4、3H、4H

○第 3 子以降とは？

小学 3 年生以下の子ども的人数を数えます。

Q7：年収 360 万円未満世帯と第 3 子以降の給食費はどの程度、無償化されるのですか？無償（無料）ですか？

A7：副食食材料費（おかず・飲み物等）は全て無償（無料）となります。

主食食材料費（ごはん等）は市の補助により 1 食 35 円まで助成する予定です。

※ 習志野市外私立幼稚園・こども園を利用している人は、施設のある市区町村により  
取り扱いが異なる場合があります。

Q8：預かり保育のおやつ代は無償化の対象（減免）されるのですか。

A8：預かり保育のおやつ代は無償化の対象外です。

#### 【その他費用】

Q9：これまで支払っていたその他の費用はどうなりますか？

A9：これまでお支払いいただいている、給食費、新入園時に係る費用、送迎費、  
教材費、行事費、等はこれまで通り実費負担となります。

【無償化の方法】

Q10：無償化となりますがどのように給付されるのですか。

Q10：以下のとおりです。

①全ての利用者の月々の保育料は徴収しません。

②無償化対象者の預かり保育料は、一旦こども園へお支払いいただき、  
領収書・サービス提供証明書を添えて、こども園経由で市に対し請求します。

（年4回払い）

※領収書・サービス提供証明書を紛失しないように御注意ください。

③無償化対象者の給食費については、原則徴収しません。

ただし、こども園が定める主食費が補助予定額（1食35円）を超える場合は、  
差額分をお支払いいただくことになります。

現在、無償化関連の制度設計が案の段階であるため、今後変更になる可能性があります。
--